

30日	成人病検診
24日	移動生活教室
23日	念大会
20日	国保制度三十五周年記念大会
19日	農業委員会
18日	公平委員会事務研究会
16日	戸籍合同互審会
15日	人口動態互審会
12日	漁業協同組合長会議
11日	経済・建設委員会
8日	選挙管理委員会
5日	種豚登録協会役員会
4日	母子の集い
3日	労働力調査打合せ
2日	遺族会公務扶助料受給者大会
1日	事測量及び設計
10月	砂利採取場調査立会い
9日	土地改良区理事長会議
8日	町道小高線改良工事測量及び設計

麻生町1561-9
電話②0811(代)

麻生町役場
沼幸印
麻生蔵刷

所人
行所
刷所
発印

10月15日
No.226

〈人口〉	
男	9,014人
女	9,312人
計	18,326人
世帯数	4,035戸

秋の交通安全運動

期間中町内で四名の負傷者

秋の全国交通安全運動が去る九月二十一日より三十日まで十日間全国一斉に展開されました。昨年同期間中は三名の負傷者が出ましたが今期間中は残念ながら四名の負傷者を出してしまいました。

交通事故犠牲者は年々増加する傾向にあり特に老人、子供等が目立ってまいりました。老人会、小学校などで交通安全教室を開催し事故防止に努めておりますが一部無謀運転者のため交通事故が減少しないのが現状です。

十二月より年末年始の事故防止運動が予定されております。年末年始は特に飲酒の機会が多くなりますので飲酒運転は絶対にやめて悲惨な交通事故犠牲者を家庭から部落から町から一人も出さないよう皆さんで事故防止に努めましょう。

役場前に建てられた交通安全運動の啓発看板

おとしよりを 熱海へ招待



深沢和章さん

常陽丸和織維工業株式会社社長深沢和章さんは、二十一年間育った郷土のみなさんに感謝の気持ちと生前の両親に尽したかった現在の心境を...ということから、麻生地区のおとしよりを九月十四、十五日と熱海へ招待しました。

募集 農業大学生

茨城県立農業大学校では、昭和四十九年度の学生を募集しています。農業大学は農業改良普及員及び農業技術普及職員、その他の農業技術者の養成や自営農業者に対する必要教育を行います。

〈募集人員〉 農業科20名
園芸科30名、蚕業科15名
園芸専修科40名、自営科50名

〈修業年限〉 二か年、園芸専修科は一か年

〈受験資格〉 高等学校を卒業した者または昭和49年3月までに卒業見込みの者、自営科及び園芸専修科にあっては、農業を営み、または営もうとする者であつて高等学校を卒業した者、または昭和49年3月までに卒業見込みの者、もしくはこれと同等以上の学力があると校長が認めた者

〈願書受付〉
昭和49年1月10日～31日

共同募金に協力を

十月から赤い羽根（共同募金）運動が始まりました。本年は一世帯平均300円を目標に募金運動をおこないます。みなさんのご協力をお願いします。

老人健康診査を

明治30・34・38・41年生れの老人を対象に一般健康診査を次の日程でおこないます。診査の内容は、血圧、耳、目、心臓、尿、栄養状態など一般的なものです。

〔老人健康診査日程〕	
麻生公民館	10月23日 ②2～3時
太田公民館	10月24日 "
蔵川診療所	10月25日 "
小高中央公民館	10月26日 "
行方幼稚園	10月30日 "

身体障害者補装具の相談

身体障害者の補装具について、相談と交付、修理を麻生町役場で11月16日午前10時から正午までおこないます。持参するものは、身体障害者手帳または戦傷病者手帳、印かんです。

〔善〕 〔意〕

白浜の横田よしさんは、大和第三小学校へぞうきん二十枚を贈りました。

麻生の高野軍司さんは、町内小中学校へ白墨を多数、チューリップ球根七千個、サフラン球根三千個を小中学校幼稚園へ贈りました。

天掛の高崎アサさんは、麻生一中へぞうきん百二十枚、善意銀行へ次の方が預託されました。

潮来町の大崎時計店は、町内の老人へ老眼鏡二十六個、蔵川の山口秀樹さんは、大和幼稚園へ図書四巻。

根小屋長寿会は、太田小学校へぞうきん二百四十枚。

事業資金を 融資します

国民金融公庫では、中小企業の方々に事業資金を次のとおり融資しています。事業の内容あるいは資金の使いみちにより、特別貸付もありますので国民金融公庫土浦支店（土浦市本町八三一④三六〇三）（四一四一）または麻生町商工会に相談してください。

お子様のことは 「家庭児童相談室」へ

鈴田生活福祉事務所内
電話 0291 ② 3155
○相談は月曜日から土曜日まで
○相談費用は無料です。

〔出願手続〕 役場経済課または地区農業改良普及所に問合せてください。

〔入学試験〕 昭和49年2月19日、20日

〔経費〕 食費月額約一万二千元、自治会費月額約一千元、教科書代年額約二万円、後援会費入金五千元、年会費七千元（但し昭和48年度）

〔特典〕 授業料は徴収しません。農業科は農業改良普及員資格試験の受験資格があたえられます。農業科、蚕業科、園芸科は就職のさい短大卒として待遇されます。

△担保 三百万円までは必要ありません。

※年末に資金を必要とする場合は、十一月十日頃までに申込んでください。

▽利率 年八・〇％
▽保証人 一名
▽担保 三百万円までは必要ありません。

▽資金の使いみち 運転資金、商品の仕入れ、買掛決済など
▽設備資金、店舗・工場等の増改築、機械、車輛の購入など

